

2026年度
神戸大学大学院国際協力研究科
博士課程前期課程入試 第I期
(一般入試)

専門科目 問題冊子

全10ページ

経済学・経済開発論	P. 1	国際関係論	P. 7
法学概論	P. 4	教育開発論	P. 8
国際法	P. 5	公衆衛生学	P. 9
政治学	P. 6	国際防災論	P. 10

- ※ 設問ごとに解答用紙を分けて解答すること。
- ※ 各受験者は、受験票に明記されている受験科目のみを解答すること。
それ以外の科目を解答した場合は、採点の対象になりません。
- ※ 全ての専門科目について、日本語又は英語での解答を認める。

2026年度 神戸大学大学院国際協力研究科
入学試験（第I期）試験問題
〔試験科目：専門科目（経済学・経済開発論）〕

以下の設問に答えなさい。ただし、設問1は1枚目の解答用紙に、設問2は2枚目以降の解答用紙に分けて解答すること。

設問1 次の用語から5つを選択して、それぞれについて説明しなさい。（各10点、計50点）

- (1) 相対的貧困
- (2) 逆の因果関係 (reverse causality)
- (3) 逆選択 (adverse selection)
- (4) 消費者余剰
- (5) プロダクト・サイクル理論
- (6) 実質実効為替レート
- (7) 輸入代替工業化政策
- (8) 補償賃金格差
- (9) 標準偏差
- (10) 非関税障壁

設問2 次の(1)～(3)より1つを選択し、選択した問題番号を明記した上で、解答を記入しなさい。（50点）

(1) いま、ある企業が資本 (k) と労働 (l) を用いて、ある製品 (q) を製造しています。その生産関数は $q = k^{0.5}l^{0.5}$ で与えられるとします。この時、以下の問いに答えなさい。
(各10点、計50点)

- A. 36単位の資本 ($k = 36$) と、81単位の労働 ($l = 81$) を用いた時の、製品の生産量はいくら (何単位) になりますか。
- B. 製品10単位の製造を目標とするとき、それを達成する資本と労働の組み合わせを表す式 (等産出量曲線の式) を求めなさい。
- C. 上で求めた等産出量曲線の式を、縦軸を資本 (k)、横軸を労働 (l) として図で表しなさい。また、描いた曲線上の資本と労働の組み合わせを2つ以上示しなさい。
- D. 資本の単位当たりの価格が4で、労働の単位当たりの価格が1であるとします。製品の目標生産量が10単位であるとき、生産に掛かる費用を最小にする資本と労働の量の組み合わせ、および費用を求めなさい。
- E. 上で求めた資本と労働の組み合わせと最小費用を、等産出量曲線とともに図示しなさい。(C. で描いた図の上に重ねて描かずに、別の図をもう一つ作成すること。)

(2) 短期の小国開放経済を想定するマンデル＝フレミング・モデルが以下の財市場、貨幣市場、債券市場の3つの市場に関する方程式から成り立つものとする。

$$Y = C(Y) + I(r) + G + NX(Y, Y^*, ep^*/p) \quad \text{①}$$

$$M/P = L(r, Y) \quad \text{②}$$

$$r = r^* \quad \text{③}$$

但し、 Y は自国所得、 C は消費、 I は投資、 r は自国利子率、 G は政府支出、 NX は純輸出、 Y^* は外国所得、 ep^*/p は実質為替レート、 e は自国通貨建て名目為替レート、 p^* は外国物価、 p は自国物価、 M/P は実質貨幣供給量、そして r^* は外国利子率を示している。

①式は財市場の方程式であり、政府支出 (G)、外国所得 (Y^*)、実質為替レート (ep^*/p) を固定した場合の財市場の均衡を実現する自国利子率 (r) と自国所得 (Y) の組み合わせを表したものをIS曲線と呼ぶことにする。

②式は貨幣市場の方程式であり、一定の実質貨幣供給量 (M/P) の下、貨幣市場の均衡を実現する自国利子率 (r) と自国所得 (Y) の組み合わせを表したものをLM曲線と呼ぶことにする。

③式は債券市場の方程式であり、国内外資産は完全代替的であり、予想為替レート変化率は0であると仮定するとき、自国利子率 (r) と外国利子率 (r^*) は速やかに一致することを示している。これを rr^* 線と呼ぶことにする。

以下の問いに答えなさい。(計50点)

- A. 縦軸に利子率、横軸に所得を取り、上記①式、②式、③式で示されるIS曲線、LM曲線、そして rr^* 線を一つの図の中に示しなさい。(10点)
- B. 変動為替制度の下、小国開放経済のある国が拡張的な金融政策を実施したとき、その国の利子率(自国利子率)と所得(自国所得)にはどのような変化が生じると考えられるか?その過程で生じることを簡潔に説明するとともに、A. で求めた図を用いてその変化を作図しなさい。但し、拡張的な金融政策が実施される前、その国の経済はIS曲線、LM曲線、そして rr^* 線の交点にあったものとする。(20点)
- C. 固定為替制度の下、小国開放経済のある国が平価切下げを実施したとき、その国の利子率(自国利子率)と所得(自国所得)にはどのような変化が生じると考えられるか?その過程で生じることを簡潔に説明するとともに、A. で求めた図を用いてその変化を作図しなさい。但し、平価切下げが実施される前、その国の経済はIS曲線、LM曲線、そして rr^* 線の交点にあったものとする。(20点)

(3) 確率変数 X は10もしくは20のうちのいずれかの値を取り、確率変数 Y は20もしくは40のいずれかの値をとるとする。 X と Y の同時確立分布は以下の表で与えられているとする。以下の問いに答えなさい。(各10点、計50点)

X の値 \ Y の値	20	40
10	0.1	0.4
20	0.4	0.1

- A. $P(X = 10)$ を求めなさい。
- B. X の期待値と分散を求めなさい。
- C. X と Y は独立かどうかを検証しなさい。
- D. $P(X = 10 | Y = 40)$ を求めなさい。
- E. X と Y の共分散と相関係数を求めなさい。

2026年度 神戸大学大学院国際協力研究科
入学試験（第Ⅰ期）試験問題
〔試験科目：専門科目（法学概論）〕

以下の設問に答えなさい。ただし、設問1は1枚目の解答用紙に、設問2は2枚目の解答用紙に分けて解答すること。

設問1 次の文章を読んで、下記の問い(1)～(3)に答えなさい。(計50点)

日本国憲法は、天皇について「天皇は、(①)の象徴であり(②)の象徴」(第1条)であると規定し、「天皇の国事に関するすべての行為には(③)を必要」とする(第3条)と規定する。これらに加えて、第6条は、天皇による任命権を定めている。

- (1) 日本国憲法第1条の条文のうち、空欄①、②及び③に当てはまる語句を記入しなさい。
(15点)
- (2) 日本国憲法第3条に定める「天皇の国事に関するすべての行為」のうち5つを挙げなさい。
(25点)
- (3) 日本国憲法第6条に定める天皇による任命権の手続を2つ述べなさい。(10点)

設問2 以下の用語から5つを選んで、それぞれ説明しなさい。(各10点、計50点)

- (1) 慣習法
- (2) 法の下での平等
- (3) 罪刑法定主義
- (4) 内心の自由
- (5) 拡張解釈
- (6) 不法行為
- (7) 善意取得
- (8) 正当防衛
- (9) ストライキ
- (10) 難民

2025年9月1日実施

2026年度 神戸大学大学院国際協力研究科
入学試験（第Ⅰ期）試験問題
〔試験科目：専門科目（国際法）〕

設問 以下の設問に答えなさい。

国際法上、国家承認は国家の一方的行為であるため、限られた数の国家承認しか得られない領域的実体が生じることがある。このことに着目しつつ、国家承認の意義と課題を、実例にも言及しながら体系的に論じなさい。

(100点)

2026年度 神戸大学大学院国際協力研究科
入学試験（第I期）試験問題
〔試験科目：専門科目（政治学）〕

以下の設問に答えなさい。ただし、設問1は1枚目の解答用紙に、設問2は2枚目及び3枚目の解答用紙に分けて解答すること。

設問1 最近の選挙そして政治過程では、SNSの影響が大きくなったことが指摘されています。一方では、SNSが選挙や政治過程を大きく変えたとその功罪が議論され、規制の必要も言われています。しかし他方では、テレビやラジオのような新しい情報伝達手段が広く普及しはじめた過去にも同じような新しいメディアの影響が議論され、これらを規制すべきか否かが論じられてきたことが指摘されています。

それでは開発途上国の場合、SNSが選挙や政治過程に与える影響にはどのような特徴があるでしょうか。あなたが研究対象として考えている国などの具体例を踏まえながら、SNSが開発途上国の選挙や政治過程に与えているさまざまな影響について論じなさい。（50点）

設問2 次の用語の中から5つを選択して、それぞれについて政治学的な含意を踏まえて、説明しなさい。（各10点、計50点）

- (1) ポリアーキー
- (2) スポイルズ・システム
- (3) 族議員
- (4) デュヴェルジェの法則
- (5) ベーシック・インカム
- (6) 包括政党
- (7) 社会関係資本
- (8) 構造調整政策
- (9) クライアントリズム
- (10) 半大統領制
- (11) 衛兵主義
- (12) 一党優位政党制
- (13) 国民国家

2026年度 神戸大学大学院国際協力研究科
入学試験（第I期）試験問題
〔試験科目：専門科目（国際関係論）〕

以下の設問に答えなさい。ただし、設問1は1枚目の解答用紙に、設問2は2枚目の解答用紙に分けて解答すること。

設問1 2025年1月に発足したアメリカ合衆国のドナルド・トランプ（Donald Trump）政権による通商政策に関連して、国際関係論の観点から以下の問いに答えなさい。（計50点）
※注意：「A国は～すべき」といった未来に向けた政策提案ではなく、現実の説明に重点を置くこと。問題の趣旨からはずれた解答をした場合、採点の対象となりません。

- (1) 第二次世界大戦後における国際貿易の基本原則として「自由・無差別・多角」が掲げられている。国際貿易の文脈において、これら三つの概念をそれぞれ簡単に説明しなさい。（各5点、計15点）
- (2) 「自由・無差別・多角」を原則とする国際貿易体制の中核を担う、1995年1月1日に設立された国際機構とは何か。この国際機構の名前を日本語および英語の略称で記載しなさい。（5点）
- (3) トランプ政権が掲げるいわゆる「相互関税」政策に関して、この「相互関税」政策とは何か、および、(1)で説明した「自由・無差別・多角」という国際貿易の基本原則とはどのように異なるのかを具体的に論じなさい。（15点）
- (4) 国際貿易体制には、国内政治への配慮から自由貿易に関する例外が盛り込まれ、その例外措置が過去実施されてきた。なぜ例外措置が必要なのかを具体的に説明しなさい。（15点）

設問2 次の項目の中から5つを選択し、それぞれについて具体的事例を交えて簡潔に説明しなさい。（各10点、計50点）

- (1) 覇権安定論
- (2) デモクラティック・ピース
- (3) 相互核抑止
- (4) 同盟のジレンマ
- (5) シーレーン
- (6) 人間の安全保障
- (7) コンストラクティビズム
- (8) オーケストレーション

2026年度 神戸大学大学院国際協力研究科
入学試験（第Ⅰ期）試験問題
〔試験科目：専門科目（教育開発論）〕

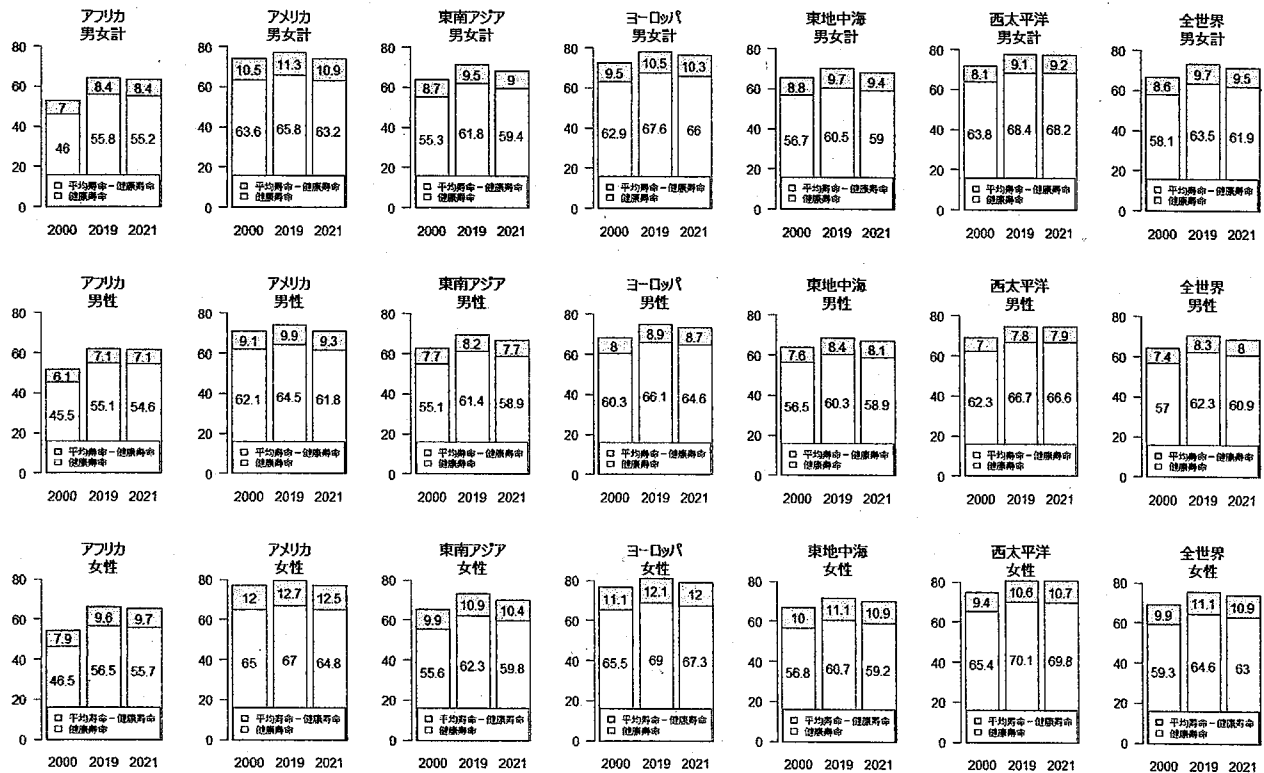
以下の6つの設問から4つを選び答えなさい。各設問をそれぞれ別の解答用紙に分けて解答すること。（各25点、計100点）

- 設問1 近年、アジアの開発途上国においても国家が主体となって科学・技術・工学・数学の学びを統合したSTEM教育が実践されているが、STEM教育と貧困削減の関係について論じなさい。
- 設問2 PISAやTIMSSなどの国際学力調査の結果において、日本の順位はトップランクに位置しているが、その一方で、専門家や文部科学省はいくつかの問題点を指摘している。どのような点が懸念されているのか、なぜそうした問題が生じるのかを説明しなさい。
- 設問3 教育へのICT活用はえてして無条件に「良いこと」として捉えられがちであるが、そこに問題点はないのか。とくにICT活用を促進する立場から具体的に論じなさい。
- 設問4 非認知能力とはどのような能力か、その能力がどのように重要なのかを説明しなさい。非認知能力を伸ばすために、各国が教育政策においてどのような取組みを進めているかを示しなさい。
- 設問5 日本の教育に対する国際的な評価は、初等・中等教育については肯定的に語られることが多い一方、高等教育については否定的に語られることが多いのだが、それはなぜなのか。国際比較の観点から具体的に論じなさい。
- 設問6 開発途上国の教育支出をみると幼児教育への配分が増えている国が多々ある。なぜ、幼児教育への投資が重要なのかについて政府の視点から具体的に論じなさい。

以下の設問1または設問2のどちらか1つを選択して答えなさい。(100点)

設問1

(1) 下図は、World health statistics 2025*のFigure 1.1から作成した、平均寿命と健康寿命の推移を示すグラフである。読み取れることを箇条書きですべて記しなさい。(50点)



* World health statistics 2025: monitoring health for the SDGs, Sustainable Development Goals. Geneva: World Health Organization; 2025. Licence: CC BY-NC-SA 3.0 IGO.

(2) 次の専門用語から2つを選び、記号とともにそれぞれ300字程度で説明しなさい。(各25点、計50点)

- A. プラネタリー・ヘルス (Planetary Health)
- B. 因果推論における反事実モデル (Counterfactual Model in Causal Inference)
- C. 相対的貧困 (Relative Poverty)
- D. オッズ比 (Odds Ratio)

設問2

- (1) 新興・再興感染症について例を挙げて説明しなさい。(20点)
- (2) 自分が研究したいウイルス感染症を挙げて、原因ウイルスの特徴や感染経路と流行状況、予防法や治療法について説明しなさい。(80点)

2026年度 神戸大学大学院国際協力研究科
入学試験（第I期）試験問題
〔試験科目：専門科目（国際防災論）〕

以下の設問に答えなさい。ただし、設問1は1枚目の解答用紙に、設問2は2枚目の解答用紙にわけて解答すること。

設問1 次の用語について、それぞれ説明しなさい。（各10点、計50点）

- (1) 防災ガバナンス (Disaster Risk Governance)
- (2) 早期警報システム (Early Warning System)
- (3) 避難情報 警戒レベル3 (Evacuation Information: Alert Level 3)
- (4) 災害リスク軽減 (Disaster Risk Reduction)
- (5) より良い復興 (Build Back Better)

設問2 過去の災害の記憶や教訓を次世代に伝える「災害伝承」は、地域の防災力向上にどのように寄与するか。国内外の災害事例を一つ以上取り上げ、科学的知識と経験的知恵がどのように相互補完しうるかを論じなさい。また、伝承の手段として、構造物・教材・語り・デジタル技術など、いかなる方法が有効かを具体例とともに示しなさい。

(50点)